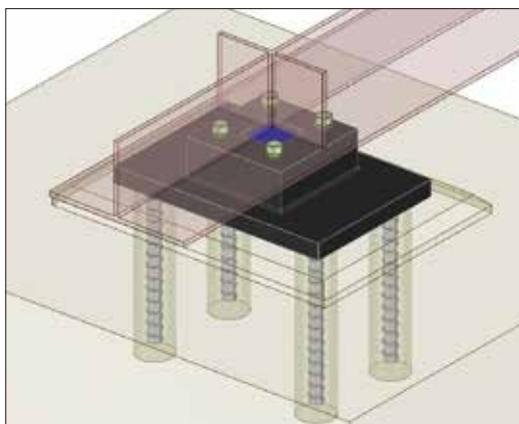


弾性固定支承

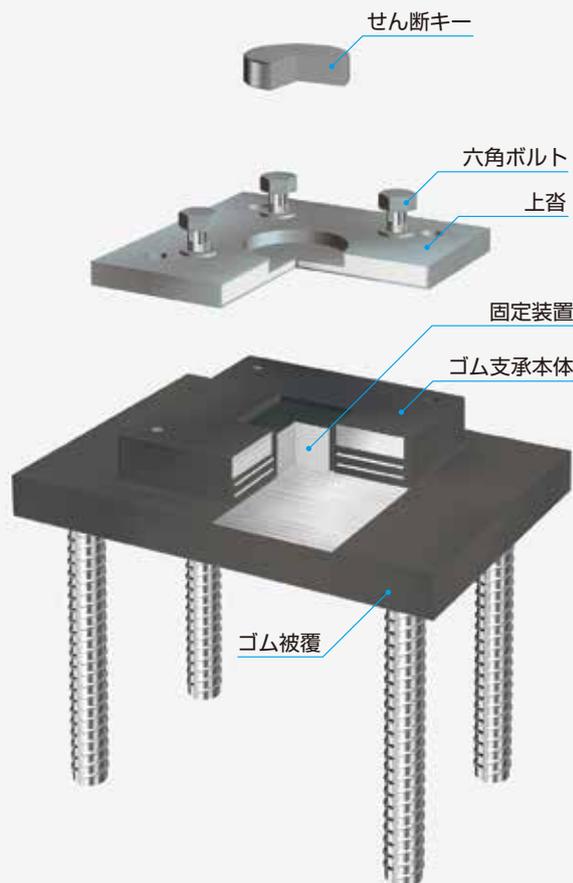
はじめに

現在、橋梁の支承材としては耐震性に富んだゴム支承が広く用いられています。しかし、固定可動支承の固定構造は、ゴム支承本体以外に、別途サイドブロックやアンカーバーなどの固定装置が必要であり、支承構造が複雑になっていました。

この点を改善した製品が“弾性固定支承”で、ゴム支承本体に水平力支持機能を内蔵させた新しいゴム支承です。



弾性固定支承の基本構造



特長

1. 防錆構造

上・下部工を固定する部材を除き、ゴムによって被覆されています。このため防錆効果に優れ、耐久性に富む構造です。また、上沓はSGN12(SGめっき+ナイロンコート)の二重防錆仕様となっています。

2. コスト縮減

従来の支承より鋼製部材が少なく、大幅なコスト縮減が可能です。また、メンテナンスの必要がありません。

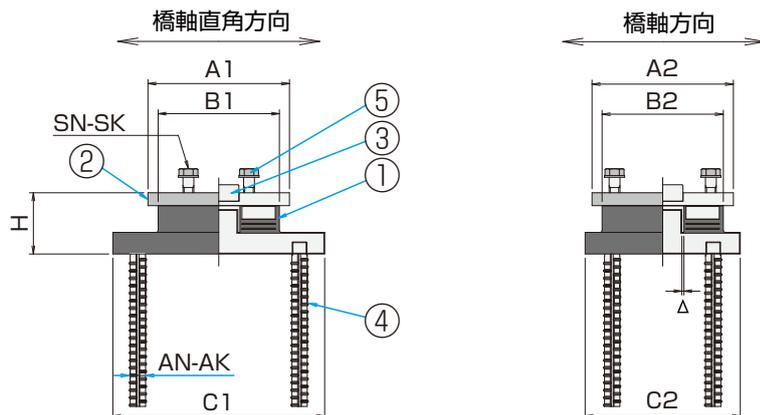
3. コンパクトなゴム支承

サイドブロックがないので、シンプルでコンパクトな外観となり、一目でゴム支承とわかる構造になります。

4. 優れた耐震性能

道路橋支承便覧に準じた設計により、橋梁に合わせた構造にでき、レベル2地震の耐震性能を有する固定可動支承です。

基本構造断面図



基本寸法表

タイプ	移動量 Δ	上蓋		ゴム支承		ベースプレート		支承高さ H	アンカーボルト		セットボルト		
		直角方向	橋軸方向	直角方向	橋軸方向	直角方向	橋軸方向		本数	径	本数	ねじ径	
		A1	A2	B1	B2	C1	C2		AN	AK	SN	SK	
200kN	固定	0.0	270	270	220	220	384	304	121	4	D25	4	M20
	可動	24.5	270	320	220	270	384	270	136	4	D25	4	M20
300kN	固定	0.0	300	300	250	250	454	304	134	4	D32	4	M24
	可動	28.0	300	370	250	320	434	320	141	4	D25	4	M20
400kN	固定	0.0	330	330	280	280	524	384	141	4	D35	4	M24
	可動	35.0	330	420	280	370	434	370	159	4	D25	4	M20
500kN	固定	0.0	350	350	300	300	524	384	153	4	D38	4	M27
	可動	35.0	350	450	300	400	494	400	163	4	D29	4	M24
750kN	固定	0.0	420	420	370	370	674	474	177	4	D51	4	M33
	可動	45.5	420	520	370	470	554	470	191	4	D32	4	M27
1000kN	固定	0.0	470	470	420	420	724	524	187	4	D51	4	M36
	可動	49.0	470	570	420	520	674	520	209	4	D38	4	M30
1250kN	固定	0.0	520	520	470	470	774	624	198	6	D51	8	M33
	可動	56.0	520	620	470	570	734	570	224	4	D41	4	M33
1500kN	固定	0.0	550	550	500	500	824	624	204	6	D51	8	M33
	可動	59.5	550	670	500	620	824	620	238	4	D51	4	M33

基本仕様

番号	名称	材質・仕様
①	ゴム支承	CR+SS400+SM490A
②	上蓋	SM490A
③	せん断キー	SS400
④	アンカーボルト	SD345
⑤	六角ボルト	強度区分 8.8

単位：mm



コンクリート桁 設置例



鋼桁 設置例

東京ファブリック工業

支店

札幌 盛岡 仙台 宇都宮 新潟 東京 横浜 名古屋
金沢 京都 大阪 高松 広島 福岡 鹿児島



お問い合わせ先

本店

〒163-0429 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル29階
URL : <https://www.tokyo-fabric.co.jp/>